

情報通信審議会 総会（第39回）議事概要

1 日時 平成29年7月20日（木） 13時30分～15時00分

2 場所 総務省 第1特別会議室（8階）

3 出席者

（1）委員（敬称略）

内山田 竹志（会長）、相田 仁、石戸 奈々子、泉本 小夜子、
伊丹 誠、岡田 羊祐、上條 由紀子、熊谷 亮丸、近藤 則子、
三瓶 政一、須藤 修、谷川 史郎、東條 吉純、中澤 清孝、
根本 香絵、野間 省伸、堀 義貴、三尾 美枝子、森川 博之
（以上19名）

（2）臨時委員（敬称略）

新美 育文、村井 純（以上2名）

（3）総務省

あかま 二郎（総務副大臣）、太田 直樹（総務大臣補佐官）、
鈴木 茂樹（総務審議官）、武田 博之（官房総括審議官）

（情報通信国際戦略局）

今林 顯一（情報通信国際戦略局長）、吉田 真人（官房総括審議官）、
布施田 英生（技術政策課長）、岸 洋佑（情報通信政策課長補佐）

（情報流通行政局）

山田 真紀子（情報流通行政局長）、谷脇 康彦（政策統括官）、
豊嶋 基暢（情報通信作品振興課長）

（総合通信基盤局）

渡辺 克也（総合通信基盤局長）

（4）事務局

椿 泰文（情報通信国際戦略局参事官）

4 議 題

(1) 答申事項

- ①「新たな情報通信技術戦略の在り方」に対する第三次中間答申（案）
について

【平成 26 年 12 月 18 日付け諮問第 22 号】

【内容】

本件は、Society 5.0 実現に向けた熾烈な国際競争の中で、我が国社会の生産性向上と豊かで安心な生活を実現するため、多様な経済分野の発展基盤として人工知能 (AI) の社会実装を加速する「次世代人工知能社会実装戦略」と、AI の駆動力となる良質なデータを戦略的に確保するとともに、安全、利便性高く AI で利活用し、価値創出を図るための環境整備を推進する「次世代 AI × ICT データビリティ戦略」を一体的にとりまとめたもの。

審議の結果、情報通信技術分科会からの報告のとおり中間答申することとした。

- ②「IoT／ビッグデータ時代に向けた新たな情報通信政策の在り方」
第四次中間答申（案）について

【平成 27 年 9 月 25 日付け諮問第 23 号】

【内容】

本件は、本年 1 月に第三次中間答申として取りまとめた「IoT 総合戦略」において提言された施策について、進捗状況の確認と併せ、PDCA 確保の観点から、施策実施の主体、目標・内容、スケジュールを改めて明確化しており、これについて報告があったもの。

とりわけ、第三次中間答申の際に中間提言を行ったネットワークを支える人材育成に関する検討については、その後も更なる検討が進められ、取りまとめが行われている。また、同中間答申時に新たに検討の場を設けるとされた、ブロックチェーン技術活用の在り方及びデータ取引市場等のルールの在り方についても検討を行い、取りまとめが行われている。

審議の結果、情報通信政策部会からの報告のとおり中間答申することとした。

- ③「視聴環境の変化に対応した放送コンテンツの製作・流通の促進方策の在り方」中間答申（案）について

【平成 28 年 10 月 19 日付け諮問第 24 号】

【内容】

本件は、平成 28 年 10 月に総務大臣より諮問を受けた後、情報通信政策部会及び放送コンテンツの製作・流通の促進等に関する検討委員会における検討状況について、報告があったもの。

主な内容としては、放送コンテンツの視聴環境の変化やネット配信に係る国内外の取組状況等を踏まえ、①放送コンテンツの流通を支える配信基盤及びネットワークの在り方、②放送コンテンツの適正かつ円滑な製作・流通の確保について検討し、今後の取組の方向性を取りまとめたもの。

審議の結果、情報通信政策部会からの報告のとおり中間答申することとした。

(2) 報告事項

情報通信技術分科会及び各部会の活動状況について

【内容】

情報通信技術分科会及び各部会の活動状況について、事務局より報告があったもの。

本会議にて配付された資料をご覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますのでご覧ください。

また、総務省において、閲覧及び貸し出しを実施しておりますので、下記までご連絡をお願いいたします。

担 当：総務省 情報通信国際戦略局 管理室 調整係 高橋、中山

電 話：03-5253-5957

FAX：03-5253-5945

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策をしているため、/●/を@に置き換えてください。